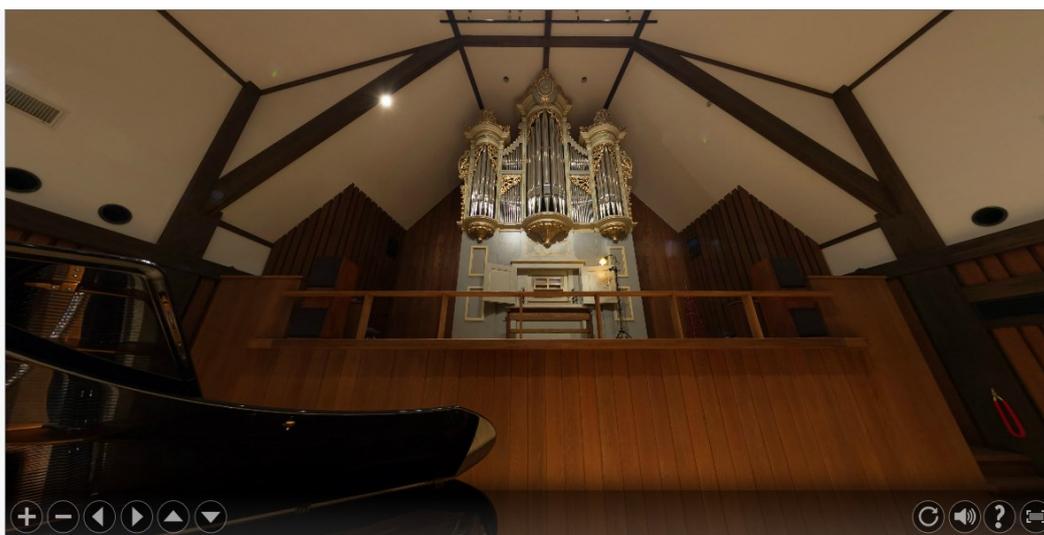


連載：試聴室探訪記 第18回

～谷口ともり、魅惑のパノラマ写真の世界～

美しい庭園に囲まれた音楽ホール「キングスウェル」を訪ねて

フォトグラファー 谷口ともり・編集委員 森 芳久



「キングスウェル 音楽ホール」

第18回の試聴室探訪記もまた、純オーディオ試聴室ではなく、山梨県甲斐市の「キングスウェル」の音楽ホールを訪ねることにいたしました。

話の発端は今年の春のことでした。日本オーディオ協会のメンバーの方から、「韭崎の近くにとっても素敵な小音楽ホールが出来上がり、このホールの響きが素晴らしく、またこのホールに常設されたオーディオ装置の音もなかなか良い音がしているようです」との情報を頂きました。特に、このホールは美しいイングリッシュガーデンに隣接して建てられており、5月にはその庭に薔薇の花が咲き乱れ、訪れる人々を魅了して止まないとのこと。既に暦は6月を閉じようとし、薔薇の季節には遅すぎましたが、急遽「キングスウェル」オーナーの山寺一雄氏に無理をお願いし、谷口さんと一緒に取材に出かけてまいりました。

東京都内からは、中央高速道路双葉SAまで約1時間半のドライブ、そのSAのスマート出口を出れば5分で目的地「キングスウェル」に到着です。大きな駐車場から正門をくぐれば、目の前にはお洒落な遊歩道が奥のホール（写真1）に迎え入れてくれます。正面に見える美しい塔に吊るされた鐘に、思わず海外に居るかのような気分になります。メインのキングスウェルホールは、アーク建築設計の1000㎡の木造建築で、外壁はオーナーが選んだ羊色で統一されています。英国といえば羊です。まさに周囲の庭や風景にぴったりと調和しています。またホールの大屋根は天然石のスレート葺き、美しく端正な仕上がりです。

ホール内は木材や漆喰壁など天然素材を使い、素朴な感じで仕上げられています。200席を持つこのホールの残響は3.4秒とのことですが、その美しい魅力的な響きと落ち着いた内部の雰囲気からオーナーの趣味と慧眼が伝わってきます。

そして圧巻は、ホール内ステージ正面上部に設置されたバロック様式のパイプオルガンです。かつて山寺氏が、ドイツ、ライプチヒ近郊のレータ村の小さな聖マリア教会に現存するパイプオルガン（1722年、ゴットフリード・シルバーマン作）に魅せられ、その複製品を170年余の伝統を誇るイタリアのザニン社の工房に発注し、3年の歳月をかけて完成したものです。

また、舞台に置かれたピアノはベーゼンドルファのモデル225です。2011年11月ブーニンもここを訪れ、このピアノとホールの音を絶賛したとのことでした。

舞台の両袖には、モニター用スピーカーの名機ダイヤトーン DS-305 が設置され、ドライブはアキュフェーズのメインアンプ A-100 が用いられています。さらに上段のステージには、フィーストレックスの 22.5cmφ 励磁型フルレンジユニットを用いたスピーカーシステムを第一通信工業のデジタルパワーアンプ M1002 が駆動し、それぞれのシステムがホールの PA また再生装置として密度の高い音をホールに響かせています。

そもそも、山寺氏がここに音楽ホールを建てようと思ったのは、このパイプオルガンを好きな時に心ゆくまで聴きたい、そして、音楽を愛する人たちと分かち合いたい、という夢が原点だったそうです。まさに素晴らしい「男のロマン」です。優れた音楽ホールの立地条件には優れた周囲環境が必須、山寺氏はヨーロッパのさまざまな国を巡り、仕事や旅行などの折り、日本の音楽ホールの周囲環境が貧しいことを実感され、自分がホールを建てるときには環境も素晴らしく、と自らホール建設の前に周囲の庭作りから始められました。こうして、ホールに先立ち種々の薔薇が咲き乱れる沈床式フォーマルガーデン（写真2）（写真3）やローズウオーク、さらにはロックガーデン（写真4）などを配した美しいイングリッシュガーデンを完成、満を持して2010年6月にホールをオープンされました。ホール内のインテリア、中庭に続くハワイエ（写真5）も贅沢な演出です。そして本格的イタリアンレストランも併設（写真6）され、まさに訪れる人々を夢の世界に誘ってくれています。

今回も、谷口ともり氏のカメラワークが素晴らしいホールの様子を見事に捉えてくれています。どうぞお楽しみください。

尚、キングスウェルの詳細は、次の URL <http://www.kingswell.co.jp> をご覧ください。オーナー山寺氏の情熱と趣味が満載されています。

文末となりましたが、お忙しい中今回の取材にご協力いただきましたキングスウェル、オーナー山寺一雄様、またご紹介ならびにご同行いただきました第一通信工業株式会社代表取締役山口正弘様に厚く御礼申し上げます。

ご参考： 第一通信工業株式会社 <http://www.mcaudi.co.jp>  
フィーストレックス <http://www.feastrex.jp>

【添付写真】



(写真 1)

羊色に包まれた美しいホール正面 右奥の駐車場からなだらかなプロムナードを登り憧れのホールへ到着。既に音楽が鳴りはじめています。



(写真 2)

ホールに隣接したイングリッシュガーデンに設えられた、沈床式フォーマルガーデン。花たちの馥郁とした香りに包まれる。



(写真 3)

春を彩った庭園の薔薇たちも今は休眠に、夏の名残の薔薇も美しい。



(写真 4)

庭園内のロックガーデン。微風の中で心が癒される。



(写真 5 - 上)

ホールのホワイエに接続した庭園。自然の音楽が聴こえて来る。

(写真 6 - 右)

本格的イタリアンレストラン「カンパーナ」。コンサート後のディナーはもちろん、庭園散歩後のランチなど、食事のためだけに訪れる価値がある。本場イタリアで修行したシェフや熟練のパテシェの味が楽しめる。また、山梨特産のワインもお薦め。



### パノラマ画像の操作説明

- パノラマ写真は、[ここ](#)か、はじめのページの**画像**をクリックしてご覧ください。  
(ローディングに若干時間がかかる場合があります。)
- マウス操作で、画面を上下・左右 360 度、自在に回転してご覧いただけます。
- 画面下にある操作ボタンで次の操作ができます。
  - + 画面のズームイン
  - 画面のズームアウト
  - ← 画面の左移動
  - 画面の右移動
  - ↑ 画面の上方向への移動
  - ↓ 画面の下方向への移動